

揖斐川地域移動支援×デジタル連携協議会

次 第

日 時：令和5年3月16日（木）14：00～

場 所：揖斐川町役場3F 防災対策室

1 岐阜県あいさつ（岐阜県デジタル戦略推進課長）

2 揖斐川町あいさつ（揖斐川町総務部長）

3 大阪府豊能町視察報告（揖斐川町）

資料1

4 令和5年度プロジェクト概要（揖斐川町）

資料2

5 意見交換

第3回

揖斐川地域移動支援×デジタル連携協議会

大阪府豊能町視察報告

令和5年3月16日

揖斐川町

揖斐川町のバス運行体系

揖斐川町ふれあいバス

平日 6時30分頃から19時頃まで運行

主要5路線 + 旧村地域内の曜日限定運行 + スクールバス + 幼稚園バス
車両台数13台（バス10台、ハイエース2台、セレナ1台）

土日祝日

7時頃から17時頃まで運行

主要5路線

車両台数5台（バス5台）



揖斐川町はなももバス

平日 7時30分から18時まで運行

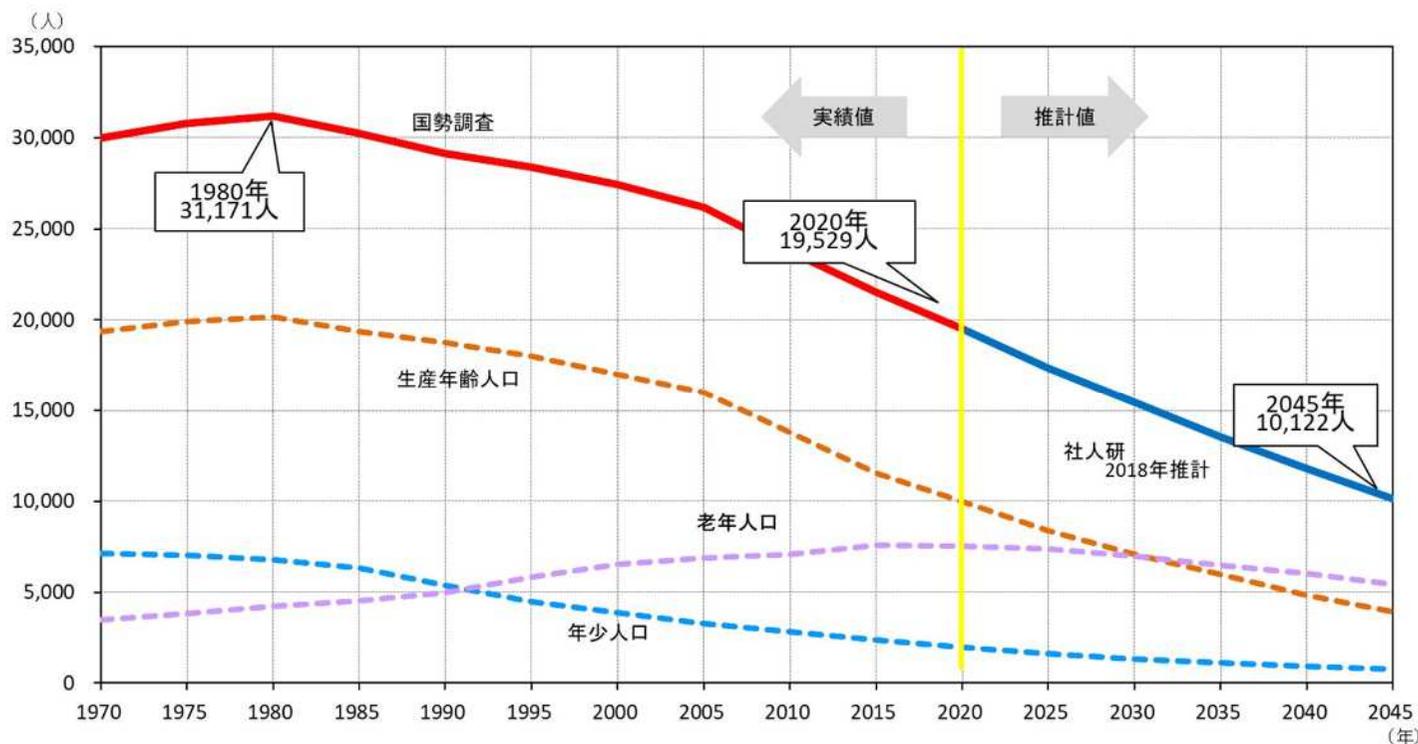
揖斐川町全域が対象

車両台数6台（セレナ6台）



人口推計と人流の変動

揖斐川町の人口推計



はなももバス利用バス停（上位5件）

順位	乗車場所	利用件数 (R3.10~R4.9)
1	揖斐駅	7,436
2	揖斐厚生病院	2,654
3	バロー揖斐川店	1,747
4	道の駅ふじはし	1,609
5	西濃学園	1,094

令和5年10月に揖斐厚生病院が移転



ふれあいバス西濃厚生病院線を新設
揖斐駅⇔西濃厚生病院
(令和5年10月1日～運行開始予定)

運行体系の見直し

先進地視察

視察先：大阪府豊能町（過疎地域）

日時：令和5年2月14日（火）

町の概要：人口18,526人	（揖斐川町19,544人）	R4.12月末
高齢化率48.2%	（揖斐川町38.5%）	
面積34km ²	（旧揖斐川町46km ² ）	

町のバス運行

路線バス：運行経路、本数の減（令和4年7月に再編）

デマンド：定路線型（ダイヤが決まっており、予約があったときのみ運行）

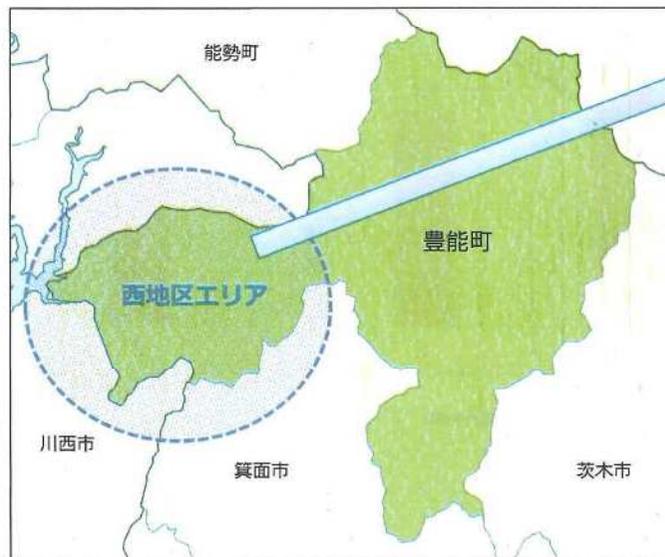
運行体系の見直し

先進地視察

● 実証実験の実施区域

✓ 対象エリア（西地区：吉川・ときわ台・東ときわ台・光風台・新光風台）

対象人口	14,426人
世帯数	6,740世帯
高齢化率	49.4% (町全体48.2%)



運行体系の見直し

先進地視察

● 実証実験の概要

HANI+(ハニ+) ~「HANKYU」+「AI」で街・人をつなぐ~

■ 運行概要について

1. 実施主体 豊能町AIオンデマンド交通実証実験協議会（豊能町・阪急バス・京都タクシー）
2. 運行会社 阪急バス株式会社、京都タクシー株式会社
3. 実施期間 2023年2月1日～2月28日 ※期間限定の運行
4. 配車時間 9：00～17：00
5. 運賃 無料（※実証実験期間中に限る）
6. 使用車両 ワンボックス車両（乗車定員：8人）×3両
7. 予約方法 スマホアプリまたは電話で予約
8. ミーティングポイント（乗降場所） 設置箇所数 / 115箇所



HANI+

好きな時間に、行きたい場所へ。
新しいバスの形を「+」に込めたデザイン

運行体系の見直し

先進地視察

実証実験に向けた外部データの取込み方

- ・ 人流データの1%の人がデマンドを利用されると想定して算出
- ・ ハイエース3台で運行できると想定

実証実験の途中経過

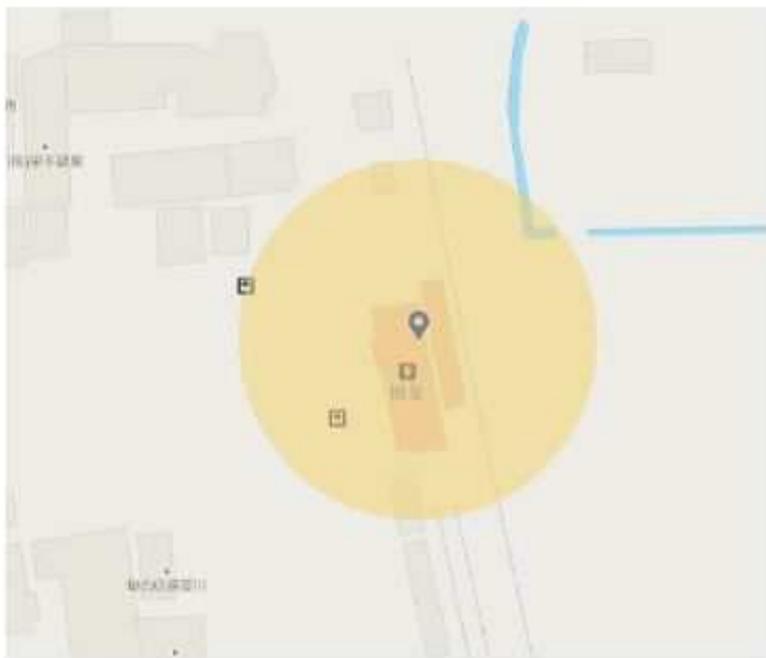
- ・ 1日当たりの利用者数は平均98人(2/1~2/12)
- ・ ネット予約と電話予約を併用しており、割合は8:2
- ・ 電話予約は、ネットの補完的役割でありオペレータは専門知識がなくても可

運行体系の見直し

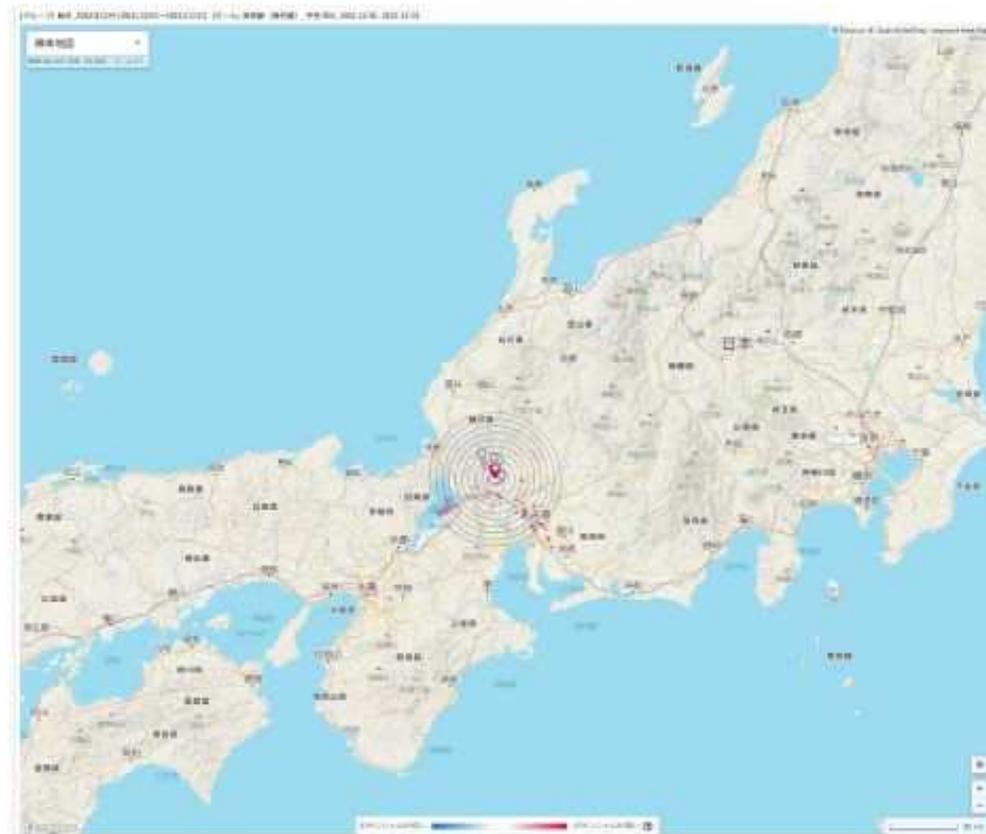
外部データ参考抽出

3. 揖斐駅

POI

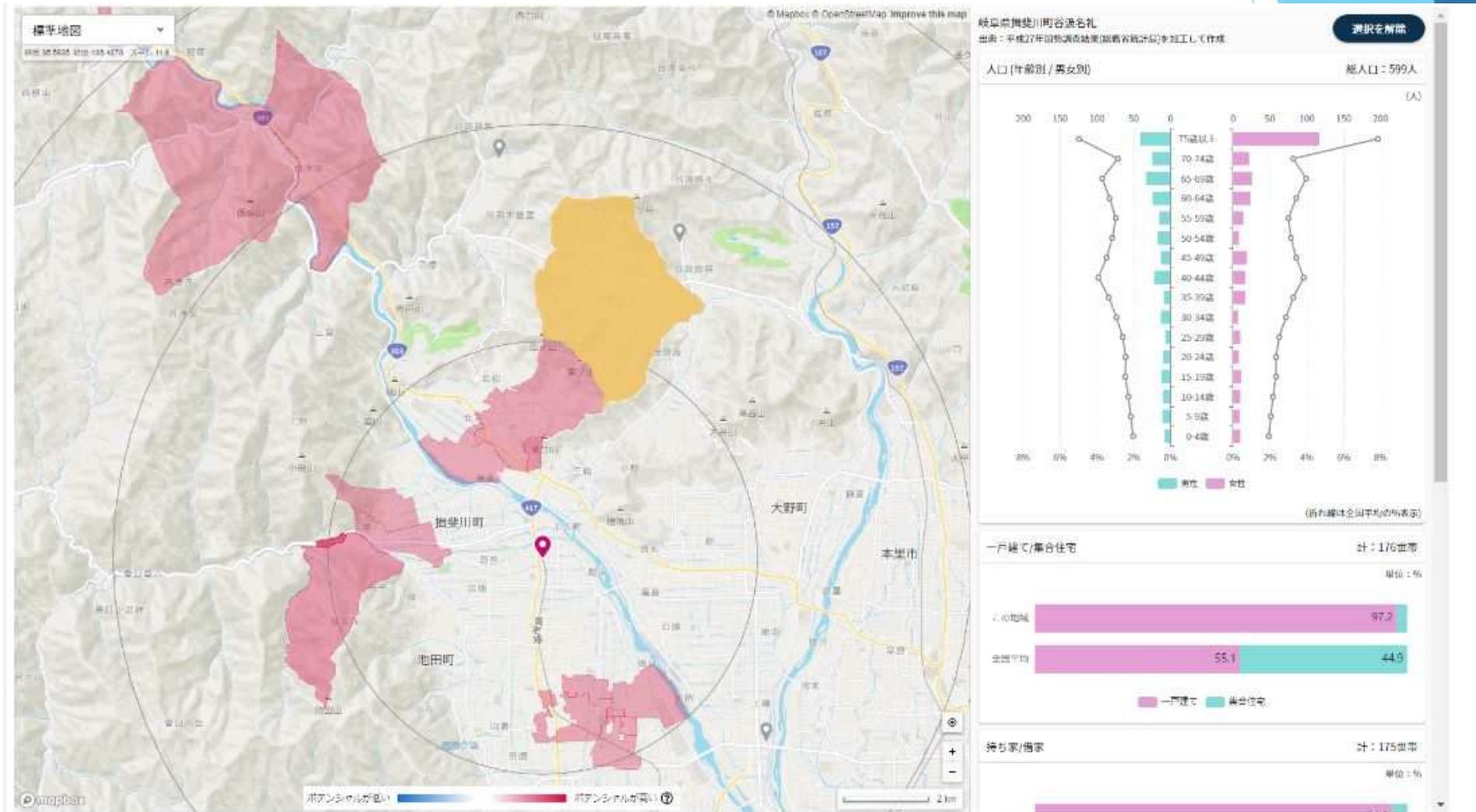


ポテンシャルマップ
ファイル名：カスタム ポテンシャルマップ_揖斐駅（養老線）_半径30m_2022-12-01_2022-12-31.csv



運行体系の見直し

外部データ参考抽出



デマンドシステムの見直し

●現在使用しているシステム

コンビニクル（順風路株）

《利点》 近隣自治体での使用実績多数
安価

《欠点》 現行のパッケージ改修ができない

●他社のシステム

地方自治研究機構へ調査依頼

《調査結果》 基本はパッケージもの
改修できても高額な費用が掛かる

デジタル技術を活用した地域交通システムの構築

プロジェクト案：

データ分析による運行最適化シミュレーションの実施（令和5年度実施）

【分析データ群】

- はなももバスのデマンドシステム内の各種データ（予約・運行等）
 - ・ インターネット予約の実施 **利便性向上** 令和5年度実証実験
 - ※ デジタル・デバインド対策としてスマホ教室等を併せて実施
 - ⇒ 令和6年度実装を検討
- ふれあいバスの乗降調査結果
- インターネットアンケートの実施（はなもも・ふれあいバス）
- モバイル定期券（はなもも・ふれあいバス）の利用データ
 - ・ モバイル定期券の発行・キャッシュレス決済の導入 **利便性向上**
令和5年度運用開始
- 鉄道の乗降・乗継データ
- タクシーの利活用データ
- その他各種データ（観光施設等の利用データ）

運行・利用情報等のデータ化による最適な運行シミュレーションを実施

⇒ シミュレーション結果を踏まえ、西濃厚生病院移転（R5.10）後の人流の状況も見据えつつ、利用者の利便性向上・効率的なバス運行など、最適な地域交通システムを構築（令和6年度実施予定）